

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年03月30日

計画の名称	災害時給水栓設置事業(防災・安全)												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	堺市												
計画の目標	本事業は、避難所となる小学校83か所に、災害時に小学校に避難してきた住民等が自ら設置可能な災害時給水栓を整備することにより、迅速かつ円滑な応急給水を実施し避難所生活者の生活用水を確保するとともに、災害時給水栓を利用した災害訓練等を通して地域の防災力の向上と防災意識の高揚を図ることを目標とする。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	69	A	69	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28末	H30末	H33末
1	地震災害時における避難所(小学校)生活者の生活用水(1人1日20リットル)を確保する。			
	地震災害時における避難所(小学校)生活者の生活用水を確保 避難所(小学校)の生活用水確保者数(人)/避難所(小学校)想定生活者数75,533人×100(%)	0%	41%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	堺市	直接	堺市	-	-	災害時給水栓設置事業(市域全体)	災害時給水栓、収納ボックス(ベンチ型)83基	堺市						69		-
											小計						69		
											合計						69		

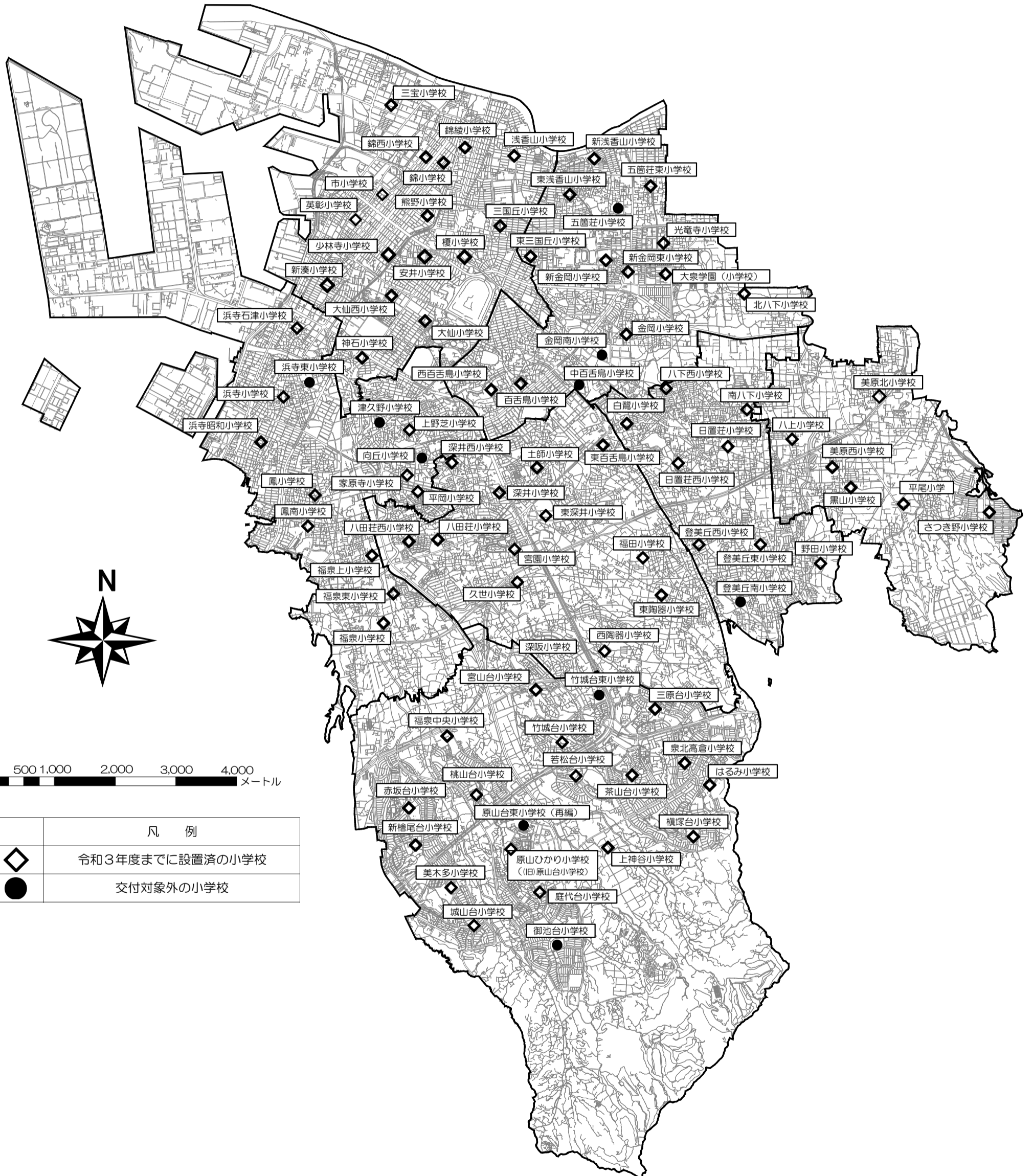
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	R03
配分額 (a)	10	9	5	5	4
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	10	9	5	5	4
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	10	9	5	5	4
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	災害時給水栓設置事業（防災・安全）		
計画の期間	平成29年度～令和3年度（5年間）	交付対象	堺市



凡 例	
◇	令和3年度までに設置済の小学校
●	交付対象外の小学校

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 災害時給水栓設置事業(防災・安全)

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 堺市総合計画「堺21世紀・未来デザイン」の方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。・堺市マスタープラン、堺市地域防災計画、堺市国土強靱化地域計画・堺市水道ビジョン	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性) 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性等 1) 計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性) 1) 計画に具体性があり、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性) 2) 計画について住民や関係機関等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動、関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 1) 住民等から事業実施の要望がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動、関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 2) 計画について住民・関係機関等の多様な主体との連携が図られている。	○